製品安全データシート

作成日：2012 年 11 月 05 日

製造者情報

会社　　：横河電機株式会社
所在地　　：〒180-8750　東京都武蔵野市中町 2-9-32
担当部門　：IA-PF 事業本部　科学機器事業部　技術部
電話番号　：0422-52-5648　FAX 番号：0422-52-0364
緊急連絡先：0422-52-5648　FAX 番号：0422-52-0364

整理番号　K9024EC

製品名（化学名，商品名等）　　チェック用試薬　キンヒドロン

組成及び成分情報

単一製品、混合物の区分	：混合物
化学名（別名）	：キンヒドロン（グリーンヒドロキノン） フタル酸水素カリウム（重フタル酸カリウム） 塩化カリウム（塩化カリ）
成分及び含有量	：キンヒドロン　48～52%(キノンとして)　約 0.5g／包 フタル酸水素カリウム　99.0%以上　約 2.55ｇ／包 塩化カリウム　99.0%以上　37.25g／包 3 包
化学式又は構造式	：キンヒドロン　$C_6H_4(OH)_2 \cdot C_6H_4O_2$ フタル酸水素カリウム　$C_6H_4(COOK)(COOH)$ 塩化カリウム　KCl
官報公示整理番号 (化審法･安衛法)	：$C_6H_4(OH)_2 \cdot C_6H_4O_2$; 設定されていない $C_6H_4(COOK)(COOH)$; 3-1342 KCl; 1-228
CAS No.	：$C_6H_4(OH)_2 \cdot C_6H_4O_2$; 106-34-3 $C_6H_4(COOK)(COOH)$; 877-24-7 KCl; 7447-40-7
危険有害成分	：特になし

その他

次葉、"製品安全データシート キンヒドロン、フタル酸水素カリウム、塩化カリウム”参照

化学物質等安全データシート

1.＜化学物質等及び会社情報＞

会社名　：　小宗化学薬品株式会社
住所　：　東京都板橋区東坂下 2-13-15
担当部門　：　行田工場品質管理部
電話番号　：　03-3966-8545
ＦＡＸ　：　03-3966-8574
緊急連絡先　：　048-556-6261

整理番号　：　13301-7　　制定 1993 年 4 月 1 日・改定 2007 年 6 月 22 日

製品名　：　キンヒドロン

2.＜危険有害性の要約＞

GHS 分類　：

急性毒性（経口）　：　区分 3
発がん性　：　区分 2
水生環境有害性（急性）　：　区分 2

GHS ラベル要素　：

絵表示又はシンボル　：

注意喚起語　：　危険

危険有害性情報　：

- 飲み込むと有毒
- 発がんのおそれの疑い
- 水生生物に毒性

注意書き　：

（予防策）

- 使用前に取扱説明書を入手すること。
- すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
- この製品を使用する時は、飲食または喫煙をしないこと。
- 必要に応じて個人用保護具を使用すること。
- 取扱い後はよく手を洗うこと。
- 環境への放出を避けること。

（対応）

- 飲み込んだ場合、直ちに医師に連絡すること。口をすすぐこと。
- 暴露または暴露の懸念がある場合、医師の診断／手当てを受けること。

（保管）

- 施錠して保管すること。

（廃棄）

- 内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

3.＜組成、成分情報＞

単一製品・混合物の区別　：　単一製品
化学名,（別名）　：　キンヒドロン,（グリーンヒドロキノン）
成分及び含有量　：　48～52 %（ベンゾキノンとして）
化学式又は構造式　：　$C_6H_4(OH)_2C_6H_4O_2$
官報公示整理番号　：　化審法　－－
CAS　№　：　106-34-3
TSCA 登録　：　有り
EINECS №　：　203-387-6

4.＜応急措置＞

目に入った場合　：　直ちに流水で 15 分間以上洗眼し、医師の手当を受ける。
皮膚に付着した場合　：　直ちに汚染された衣服や靴を脱がせ、付着した部分を多量の水で十分洗い流す。
吸入した場合　：　直ちに水､温水を用いてうがいをする｡患者を新鮮な場所に移し、状況に応じて医師の手当を受ける。
飲み込んだ場合　：　毛布等で保温して安静にさせる。多量の水又は食塩水を飲ませて吐かせる。速やかに医師の手当を受ける。患者に意識がない場合は、口から何も与えてはならないし、吐かせようとしてもいけない。

5.＜火災時の措置＞

消火方法　：　周辺火災の場合は、速やかに容器を安全な場所に移す。移動不可能な場合は、容器及び周辺に散水して冷却する。
燃焼ガスには、一酸化炭素等の有毒ガスが含まれるので、消火作業には保護具を着用する。
消火剤　：　水、泡、粉末、二酸化炭素

6.＜漏出時の措置＞

飛散したものは空容器に出来るだけ回収し、その後は多量の水で洗い流す。作業の際には保護具を着用し、風下で作業しない。

7.＜取扱い及び保管上の注意＞

取扱い　：　吸い込んだり、眼、皮膚及び衣類に触れないように適切な保護具を着用する。作業は風下で行わない。可燃性なので火気注意。
保管　：　冷暗所に密封して保管する。酸化剤と一緒にしない。
EU リスク警句（R)、EU 安全勧告（S)：
R：22－50
S：24/25－61

8.＜暴露防止及び保護措置＞

管理濃度　：　設定されていない。

許容濃度　日本産業衛生学会（2003 年版）：　設定されていない。

ACGIH（2003 年版）：　設定されていない。

（参考）ﾍﾞﾝｿﾞｷﾉﾝ　ACGIH（1997 年版）：　TWA(8 時間)　0.1ppm　(0.44mg/m^3)

ﾋﾄﾞﾛｷﾉﾝ　ACGIH（1997 年版）：　TWA(8 時間)　2mg/m^3　，A3

設備対策　：　粉塵が発生する場所では局所排気装置，設備の密閉化，全体換気装置等を設置する。身体洗浄施設を設置する。

保護具　：　防塵マスク，保護眼鏡，保護手袋，保護衣等必要に応じて着用する。

9.＜物理的及び化学的性質＞

外観等　：　緑色細針状の結晶又は結晶性粉末

沸点　：　－－　℃　　，　　蒸気圧　：　－－　mmHg（－－　℃）

揮発性　：　常温で分解し、ベンゾキノンが昇華する。

融点　：　171　℃

比重　：　1.401（20℃）

溶解度　：　水にわずかに溶ける。0.4g/100ml（20℃）

熱水に溶けやすい（褐色の液を生じる）。

エタノール、エーテルに黄色を呈して溶け、石油エーテルに溶けない。

その他　：　多くのキンヒドロンは結晶の場合だけ両成分（ベンゾキノンとヒドロキノン）の間の分子化合物として存在し、水又はアルコール等の溶媒に溶かすと溶液中で複雑な平衡が成立するが、一般に中性溶液ではほとんど完全にベンゾキノンとヒドロキノンとに解離している。また、常温で分解してベンゾキノンが昇華する。以下、キンヒドロンの情報が少ない項目については、ベンゾキノンとヒドロキノンの参考データを記載する。

10.＜安定性及び反応性＞

引火点　：　－－　℃（密閉）

発火点　：　－－　℃

爆発限界　上限　：　－－　%　　下限　：　－－　%

可燃性　：　有り。

発火性（自然発火性、水との反応性）：　－－

酸化性　：　－－

自己反応性・爆発性　：　－－

粉じん爆発性　：　粉末で空気と混合すると、粉塵爆発の可能性がある。

安定性･反応性　：　塩化鉄(Ⅲ)その他の酸化剤により p-ベンゾキノンに酸化され、亜硫酸その他の還元剤によってヒドロキノンに還元される。

11.＜有害性情報＞

皮膚腐食性　：　データなし。

刺激性（皮膚、眼）　：　眼、鼻、喉の粘膜を強く刺激する。眼に入った場合は角膜

障害を起こすことがある。

感作性　：　長期間の皮膚との接触は皮膚炎を起こすことがある。

急性毒性　：　LD_{50} = 225 mg/kg（経口　ラット）(RTECS)

（参考）ﾋﾄﾞﾛｷﾉﾝ：1g を嚥下すると食道を刺激し、耳なり、吐き気、嘔吐、腹痛、虚脱が起き、5g では致死する。

亜急性毒性　：　動物実験では少量の投与でラットの代謝を阻害する。

（参考）ﾍﾞﾝｿﾞｷﾉﾝ：これの製造あるいは取扱を長期間続けていると水晶体溷濁、潰瘍等角膜障害を生じ、動物実験では血液中にメトヘモグロビンを生成し、腎臓障害、肺水腫を起こし、皮膚炎、皮膚壊疽を生ずる。

ﾋﾄﾞﾛｷﾉﾝ：蒸気、粉塵、煙霧と長時間接触していると皮膚、粘膜を刺激し、眼の水晶体溷濁が起こる。

がん原性　：　ﾋﾄﾞﾛｷﾉﾝ(IARC；グループ 3, ACGIH；A3)

変異原性、生殖毒性、催奇形性　：　データなし。

12.＜環境影響情報＞

分解性　：　データなし。

（参考）ﾋﾄﾞﾛｷﾉﾝ：分解性が良好と判断される物質である。

蓄積性　：　データなし。

魚毒性　：　水生生物に強い毒性がある。

（参考）ﾋﾄﾞﾛｷﾉﾝ：　LC_{50}（96hrs）：0.64mg／ｌ（ニジマス）

LC_0=0.1　mg/L, LC_{100}=0.25　mg/L（金魚）

その他　：　データなし。

（参考）ﾋﾄﾞﾛｷﾉﾝ：オクタノール／水分配係数　0.50～0.59

13.＜廃棄上の注意＞

エタノール等の可燃性溶剤と混合して焼却炉で処分する。

還元してヒドロキノンとし、少量ずつ生物処理する。

もしくは都道府県知事の許可をうけた産業廃棄物処理業者に委託する。

14.＜輸送上の注意＞

安全対策　：　火気厳禁。高温多湿、直射日光を避ける。

運搬に際しては、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷くずれの防止を確実に行う。

国連分類　：　クラス　9（有害性物質）　，　国連番号　：　3077

15.＜適用法令＞

労働安全衛生法　：　該当しない。

化管法(PRTR 法)　：　該当しない。

消防法　：　該当しない。

毒物劇物取締法　：　該当しない。

16.＜その他の情報＞

参考資料

14504 の化学商品　化学工業日報社

環境化学物質要覧　環境庁環境化学物質研究会　編

※　危険･有害性の評価は必ずしも十分ではないので､取扱いには十分注意してください。

※　記載内容は情報を提供するもので、いかなる保証をなすものではありません。

※　注意事項は通常の取扱いを対象としたもので、特殊な取扱いの場合には用途・用法に適した安全対策を実施の上、お取扱い願います。

化学物質等安全データシート

1. 化学物質等及び会社情報

製品名　：　フタル酸水素カリウム

会社名　　：　小宗化学薬品株式会社
住所　　：　東京都板橋区東坂下 2-13-15
担当部門　：　行田工場品質管理部
電話番号　：　03-3966-8545
ＦＡＸ番号　：　03-3966-8574
緊急連絡先　：　048-556-6261
制定年月日　：　1993 年 4 月 1 日
改定年月日　：　2012 年 4 月 11 日
整理番号　：　13071-6

---

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性

可燃性固体　：　区分外
自然発火性固体　：　区分外
水反応可燃性化学品：　区分外
酸化性固体　：　区分外
有機過酸化物　：　区分外
金属腐食性物質　：　区分外

健康に対する有害性

急性毒性（経口）　：　区分 5
急性毒性（経皮）　：　区分外
皮膚腐食性・刺激性：　区分外
眼に対する重篤な損傷
・眼刺激性：　区分外
皮膚感作性　：　区分外
特定標的臓器・全身毒性
（単回暴露）：　区分外
特定標的臓器・全身毒性
（反復暴露）：　区分外

環境に対する有害性

水生毒性（急性）　：　区分外
水生毒性（慢性）　：　区分外

GHS ラベル要素

絵表示又はシンボル　：　該当なし

注意喚起語　　：警告
危険有害性情報　　：飲み込むと有害のおそれ。
注意書き　　：該当なし

---

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別　：　単一製品
化学名（別名）　：　フタル酸水素カリウム（重フタル酸カリウム）
成分及び含有量　：　フタル酸水素カリウム　99.0%以上
化学式又は構造式　：　$C_6H_4(COOK)(COOH)$
官報公示整理番号　：　化審法　(3)-1342　,　安衛法　公表
CAS №　：　877-24-7
TSCA 登録　：　有り
EINECS №　：　212-889-4

---

4. 応急措置

吸入した場合　：直ちに新鮮な空気の場所に身体を移し鼻をかませ、うがいをさせる。
皮膚に付着した場合　：直ちに石けんおよび大量の水で洗い流す。
目に入った場合　：直ちに大量の水で 15 分間以上洗い流す。
飲み込んだ場合　：直ちに水を飲ませる。
予想される急性症状及び遅発性症状
：情報なし

---

5. 火災時の措置

消火剤　：水、粉末・二酸化炭素、泡、乾燥沙
使ってはならない消火剤　：情報なし
特有の消火方法　：　情報なし
消火を行う者の保護　：　消火の際は、適切な保護具を着用する。

---

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置
：　漏出物の処理を行う際には、適切な保護具を着用し、飛散したものなどが皮膚に付着したり､粉塵を吸入しないようにする。
風下の人を待避させ、風上から作業する。
環境に対する注意事項　：　漏出物が河川などに排出され､環境に影響を起こさないように注意する。
大量の水で希釈する場合には､汚染された排水が適切に処理されずに環境へ流出しないように注意する。
回収・中和　：　飛散した物は空容器に掃き集めて回収する。
二次災害の防止策　：　漏出物の上をむやみに歩かない。

---

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策	：	皮膚に付けたり、粉塵を吸入しないように、必要に応じて適切な保護具を着用すること。
局所排気・全体排気	：	局所排気装置内、又は全体換気の設備のある場所で取り扱うこと。
注意事項	：	みだりにエアロゾル、粉塵が発生しないように取り扱う。
安全取扱い注意事項	：	取扱い後は、手洗いとうがいを十分に行う。

保管

保管条件	：	吸湿性があるので､容器は密封して冷暗所に保管すること。
容器包装材料	：	ポリプロピレン、ポリエチレン、ガラスなど。

---

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策	：	局所排気装置
管理濃度	：	設定されていない。
許容濃度	：	日本産業衛生学会：設定されていない。 ACGIH　：設定されていない。
保護具	：	
呼吸器の保護具	：	必要に応じて防じんマスクを着用する。
手の保護部	：	不浸透性保護手袋
目の保護具	：	安全ゴーグル
皮膚及び身体の保護具	：	長袖保護衣

---

9. 物理的及び化学的性質

外観	：	無色の結晶又は白色の結晶性粉末
臭い	：	無臭
臭いの閾値	：	－
pH	：	約 4（5 %，20 ℃）
融点	：	295～300 ℃（分解）
沸点	：	分解
引火点	：	－
燃焼又は爆発範囲の上限・下限	：	－
蒸気圧	：	情報なし
蒸気密度	：	情報なし
密度	：	1.64 g/ml（20 ℃）
溶解度	：	水に溶けやすい。[7.4 g/100 ml（20 ℃)]。 エタノール、ジエチルエーテルに溶けにくい。
n-オクタノール／水分配係数	：	参考（フタル酸として）0.10～0.41

自然発火温度　　：情報なし
分解温度　　：295～300 ℃
蒸発速度　　：情報なし
燃焼性　　：情報なし

---

10. 安定性及び反応性

安定性　　：　常温、常圧で安定である。
反応性　　：　情報なし
避けるべき条件　　：　日光、熱
混触危険物質　　：　情報なし
危険有害な分解生成物　：　該当なし

---

11. 有害性情報

急性毒性（経口）　　：飲み込んでも毒性は低いと思われる。
LD_{50} > 3,200 mg/kg（経口　ラット）（RTECS）
急性毒性（経皮）　　：情報なし
急性毒性（吸入：蒸気）　：－
急性毒性（吸入：粉塵・ミスト）
：情報なし
皮膚腐食性・刺激性　　：皮膚刺激を起こすことがある。
眼に対する重篤な損傷・刺激性
：眼刺激を起こすことがある。
呼吸器感作性又は皮膚感作性
：情報なし
生殖細胞変異原性　　：情報なし
発がん性　　：情報なし
生殖毒性　　：情報なし
特定標的臓器・全身毒性
（単回暴露）　：情報なし
特定標的臓器・全身毒性
（反復暴露）　：情報なし
吸引性呼吸器有害性　　：情報なし

---

12. 環境影響情報

生体毒性　：情報なし
残留性・分解性　：情報なし
生体蓄積性　：情報なし
土壌中の移動性　：情報なし

---

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物　　：　廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従う。

水に溶かし、中和後希釈して廃棄する。
都道府県知事などの許可を受けた専門の廃棄物処理業者もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。

焼却　：　可燃性溶剤に溶解または混合し、アフターバーナーおよびスクラバー付きインシナレーターの中で焼却する。

活性汚泥処理　：　低濃度の排水は活性汚泥処理装置で処理する。

容器　：　空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去した後に処分する。内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務を委託すること。

---

14. 輸送上の注意

国連番号　：　該当しない。
国連輸送名　：　－
国連分類　：　該当しない。
容器等級　：　－
海洋汚濁物質：　該当しない。
安全対策　：　運搬に際しては、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷くずれの防止を確実に行う。

---

15. 適用法令

化管法(PRTR 法)　：　該当しない。
消防法　：　該当しない。
毒物及び劇物取締法　：　該当しない。
労働安全衛生法　：　該当しない。

---

16. その他の情報

参考資料

化学大辞典　共立出版社（1963）
15308 の化学商品　化学工業日報社（2008）

※　危険･有害性の評価は必ずしも十分ではないので､取扱いには十分注意してください。
※　記載内容は情報を提供するもので、いかなる保証をなすものではありません。
※　注意事項は通常の取扱いを対象としたもので、特殊な取扱いの場合には用途・用法に適した安全対策を実施の上、お取扱い願います。

化学物質等安全データシート

1. 化学物質等及び会社情報

製品名 ： 塩化カリウム

会社名 ： 小宗化学薬品株式会社
住所 ： 東京都板橋区東坂下 2-13-15
担当部門 ： 行田工場品質管理部
電話番号 ： 03-3966-8545
ＦＡＸ番号 ： 03-3966-8574
緊急連絡先 ： 048-556-6261
制定年月日 ： 1993 年 4 月 1 日
改定年月日 ： 2012 年 1 月 31 日
整理番号 ： 13055-6

---

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性

可燃性固体 ： 区分外
自然発火性固体 ： 区分外
水反応可燃性化学品： 区分外
酸化性固体 ： 区分外
有機過酸化物 ： 区分外
金属腐食性物質 ： 区分外

健康に対する有害性

急性毒性（経口） ： 区分 5
急性毒性（経皮） ： 区分外
皮膚腐食性・刺激性： 区分外
眼に対する重篤な損傷
・眼刺激性： 区分 2B
皮膚感作性 ： 区分外
特定標的臓器・全身毒性
（単回暴露）： 区分外
特定標的臓器・全身毒性
（反復暴露）： 区分外

環境に対する有害性

水生毒性（急性） ： 区分外
水生毒性（慢性） ： 区分外

GHS ラベル要素

絵表示又はシンボル ： 該当なし
注意喚起語 ： 警告
危険有害性情報 ： 飲み込むと有害のおそれ

眼刺激

注意書き ： 気分が悪いときは、医師に連絡すること。
眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が続く場合は、医師の診断／手当を受けること。
取り扱った後、手を洗うこと。

---

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別	： 単一製品
化学名（別名）	： 塩化カリウム（塩化カリ）
成分及び含有量	： 塩化カリウム 99.0 %以上
化学式又は構造式	： KCl
官報公示整理番号	： 化審法 (1)-228 安衛法 公表
CAS №	： 7447-40-7
TSCA 登録	： 有り
EINECS №	： 231-211-8

---

4. 応急措置

吸入した場合 ： 直ちに新鮮な空気の場所に身体を移して安静にする。
皮膚に付着した場合 ： 直ちに石鹸と水でよく洗い流す。
目に入った場合 ： 直ちに大量の水で 15 分間以上洗い流す。異常があれば医師の診断を受ける。
飲み込んだ場合 ： 水や牛乳を飲ませ吐き出させる（無理に吐き出させない）。直ちに医師の診察を受ける。
予想される急性症状及び遅発性症状
： 情報なし

---

5. 火災時の措置

消火剤 ： 本品は不燃性であるため、周辺火災に適した消火剤を用いる。
使ってはならない消火剤
： 情報なし
特有の消火方法 ： 情報なし
消火を行う者の保護 ： 消火の際は、適切な保護具を着用する。

---

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置
： 漏出物の処理を行う際には、適切な保護具を着用し、飛散したものなどが皮膚に付着したり、粉塵を吸入しないようにする。
風下の人を待避させ、風上から作業する。
環境に対する注意事項 ： 漏出物が河川などに排出され、環境に影響を起こさないように注意する。
大量の水で希釈する場合には、汚染された排水が適切に処

理されずに環境へ流出しないように注意する。
回収・中和 : 飛散した物は空容器に掃き集めて回収する。
二次災害の防止策 : 漏出物の上をむやみに歩かない。

---

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策 : 皮膚に付けたり、粉塵を吸入しないように、必要に応じて適切な保護具を着用すること。
局所排気・全体排気 : 局所排気装置内、又は全体換気の設備のある場所で取り扱うこと。
注意事項 : みだりにエアロゾル、粉塵が発生しないように取り扱う。
安全取扱い注意事項 : 取扱い後は、手洗いとうがいを十分に行う。

保管

適切な保管条件 : 通気のよい屋内で密栓保管する。
安全な容器包装材料 : ポリプロピレン、ポリエチレン、ガラスなど。

---

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策 : 局所排気装置
管理濃度 : 設定されていない。
許容濃度 : 日本産業衛生学会：設定されていない。
ACGIH ：設定されていない。
保護具 :
呼吸器の保護具 :必要に応じて防じんマスクを着用する。
手の保護部 :不浸透性保護手袋
目の保護具 :安全ゴーグル
皮膚及び身体の保護具:長袖保護衣

---

9. 物理的及び化学的性質

外観 : 白色の結晶又は結晶性粉末で、塩味がある。
臭い : 無臭
臭いの閾値 : －
pH : 中性
融点 : 融点：776 ℃
沸点 : 1,500 ℃（昇華）
引火点 : －
燃焼又は爆発範囲の上限・下限 : －
蒸気圧 : 情報なし
蒸気密度 : 情報なし
密度 : 1.98 g/ml（20 ℃）
溶解度 : 水に溶けやすい。[25.6 g/100 g（20 ℃)]。エタノール、メタノールに極めて溶けにくい。アルカリ、グリセリンに溶ける。エーテルに不溶。
n-オクタノール／水分配係数 : 情報なし

自然発火温度 : －
分解温度 : 情報なし
蒸発温度 : 情報なし
燃焼性 : 不燃性

---

10. 安定性及び反応性

安定性 : 常温、常圧で安定である。
反応性 : 情報なし
避けるべき条件 : 日光、熱、湿気
混触危険物質 : 情報なし
危険有害な分解生成物 : 情報なし

---

11. 有害性情報

急性毒性（経口） : 飲み込むと有害のおそれ（区分 5）
LD_{50}＝3,020 mg/kg（経口 ラット）
LD_{50}＝2,600 mg/kg（経口 ラット）（RTECS）
LD_{50}＝117 mg/kg（静脈内 マウス）
LDLo＝20 mg/kg（経口 ヒト男），60 mg/kg（経口 ヒト女）
利尿剤に用いられるが、多量に飲むと消化器を刺激し嘔吐、血圧上昇、不整脈、循環器系統の障害（血餅形成障害など）を起こして心臓が停止する。なお、塩化カリウムは植物肥料の重要成分であるが、人体では Na^+ と K^+ の均衡を失うのでカリウム塩の多量の摂取は有害である。
急性毒性（経皮） : LD_{50} > 20 g/kg（ラビット）
急性毒性（吸入：蒸気） : －
急性毒性（吸入：粉じん・ミスト）
: 情報なし
皮膚腐食性・刺激性 : 情報なし
眼に対する重篤な損傷・刺激性
: 刺激がある（区分 2B）
呼吸器感作性又は皮膚感作性
: 情報なし
生殖細胞変異原性 : 情報なし
発がん性 : 情報なし
生殖毒性 : 情報なし
特定標的臓器・全身毒性
（単回暴露） : 情報なし
特定標的臓器・全身毒性
（反復暴露） : 情報なし
吸引性呼吸器有害性 : 情報なし

---

12. 環境影響情報

生態毒性 :
魚毒性 : LC_{50}＝880 mg/L 96hr（ファットヘッドミノー）

LC_{50}＝660 mg/L 48hr（オオミジンコ）

残留性・分解性　：　情報なし
生体蓄積性　　：　情報なし
土壌中の移動性　：　情報なし

---

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物　：　廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従う。
少量の場合は、多量の水で希釈し、pH を確認した後、下水に流す。
都道府県知事などの許可を受けた専門の廃棄物処理業者もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。

容器　　：　空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去した後に処分する。
内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務を委託する。

---

14. 輸送上の注意

国連番号　　：　該当しない。
国連輸送名　　：　－
国連分類　　：　該当しない。
容器等級　　：　－
海洋汚濁物質　：　－
安全対策　　：　運搬に際しては、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷くずれの防止を確実に行う。

---

15. 適用法令

化管法(PRTR 法)　　：　該当しない。
消防法　　：　該当しない。
毒物及び劇物取締法　：　該当しない。
労働安全衛生法　　：　該当しない。
海洋汚染防止法　　：　施行令別表第 1 有害液体物質（Z 類）（溶液）

---

16. その他の情報

参考資料

化学大辞典　共立出版社（1963）
15308 の化学商品　化学工業日報社（2008）

※　危険･有害性の評価は必ずしも十分ではないので､取扱いには十分注意してください。
※　記載内容は情報を提供するもので、いかなる保証をなすものではありません。
※　注意事項は通常の取扱いを対象としたもので、特殊な取扱いの場合には用途・用法に適した安全対策を実施の上、お取扱い願います。